

欧文書体

欧文書体には、基本的な書体として和文書体でいう明朝体にあたるセリフ体（ひげという意味）と、ゴシック体にあたるサンセリフ体（ひげを除くという意味）がある。その他に、スク립ト体や装飾的で個性がある書体などが多くある。サンセリフ体は、文字の縦線と横線がほぼ同じ太さで、シンプルのために屋外では読みやすいとされる。セリフ体は、優しさやエレガントさを表現するのに適している。その他の個性的な書体は、見やすさや読みやすさには劣るが、アクセントやイメージによっては効果的に使用できる。地域によっても主に使われている書体があり、例えば、イギリスではセリフ体、チューリッヒではサンセリフ体が好んで使われている。



スク립ト体はエレガントなイメージ、サンセリフ体でバランスをとり安定させている。



セリフ体に W のスク립ト体を組合せ優雅さを付加している。



セリフ体は、優しいイメージを持ち、説明など文章量が多い場合は適している。



サンセリフ体は判読性に富む。ヘルベチカは、世界中の屋外広告で最も使用されているであろう欧文書体。

サンセリフ体

Helvetica
OOH Design
Frutiger
OOH Design
Futura
OOH Design
Century Gothic
OOH Design

セリフ体

Garamond
OOH Design
Palatino
OOH Design
Bodoni
OOH Design
Century
OOH Design

スク립ト体

Edwardian Script
OOH Design
Naptial Script
OOH Design

その他の書体

Handwriting
OOH Design
Princetown
OOH DESIGN

欧文の字間と文字詰め

欧文の文字は、文字幅が文字によって異なるため、字送りの幅も文字により異なる。字送りの幅を均等にデザインされた等幅フォントと、文字の幅に応じた字送りになるようにデザインされたプロポーションフォントがある。（和文の書体にもある）いずれの場合も、表記する文字によってバランス良く文字ツメを行う必要がある。

等幅フォント

Letter Space 2012
American Typewriter

プロポーションフォント

Letter Space 2012
Courier

Japanese
Letter

Space fill

ベタ組で均等に行送り
Jが左に寄って見え、LetterとSpaceの行間が空いて見える

Japanese
Letter

Space fill

頭出しと行間を調整